

東北大学大学院教育情報学教育部 平成 29 年度ガイダンス

平成 29 年 4 月 6 日 (木) 10:00~12:00 総合研究棟 306 教室

1. 教職員紹介
2. オフィスアワー (資料 1)
3. 各授業科目の初回授業 (資料 2 及び 4, シラバス参照)
4. 履修要件 (資料 3~5, 学生便覧, シラバス参照)
5. 課題研究・修士論文・特定研究・博士論文
 - (1) 課題研究, 修士論文, 特定研究, 博士論文 (資料 6~10)
 - (2) 合同セミナー (資料 6 及び 11)
 - (3) 研究方法入門セミナー (資料 12)
6. 指導教員 (学生便覧参照)
7. オープンキャンパス (資料 13)
8. 学生相談窓口と経路 (資料 14)
9. ~~共同研究室他の使用 (資料 15)~~
10. ~~その他学生生活~~
11. ~~演習室等教育研究関連機器およびネットワーク (資料 16~17)~~

配布資料 学生便覧 (新入生のみ), 新入生名簿, シラバス (希望者)

- 資料 1 : オフィスアワー
- 資料 2 : 初回の授業
- 資料 3 : 履修要件 : 修了までの流れ
- 資料 4 : 開講授業科目一覧
- 資料 5 : カリキュラムマトリックス
- 資料 6 : 各学年の教務事項スケジュール
- 資料 7 : 課題研究
- 資料 8 : 修士論文執筆要項
- 資料 9 : 特定研究 (博士課程後期 3 年)
- 資料 10 : 博士論文執筆要項
- 資料 11 : 合同セミナー
- 資料 12 : 研究方法入門セミナー
- 資料 13 : オープンキャンパス
- 資料 14 : 学生相談窓口と経路
- 資料 15 : ~~共同研究室使用要項~~
- 資料 16 : ~~コンピュータシステム利用案内~~
- 資料 17 : ~~メール転送の仕方~~

その他連絡事項

*総合研究棟 306 教室で行なうオリエンテーションの後に, 教育情報学教育部の共同研究室に移動してください。使用の詳細について担当者から説明があります。

オフィスアワー

オフィスアワーは、教員があらかじめ曜日と時間を設定して、授業や研究についての学生からの質問や相談に個別に応じる制度です。

教育情報学教育部に在学する方であればどなたでも活用することができます。

活用する際の基本的な手順は下記の通りです。

1. 表のオフィスアワー一覧を見て、相談にのってもらいたい先生のオフィスアワー実施時間を確認する
2. 記載されている連絡手段を用いて、連絡を取り合い、会う日時の予約をする
3. 約束した時間に、約束した場所で先生と会う

※必ず事前に連絡をとって予約をして下さい。

教員名	オフィスアワー	連絡方法（メール）
渡部信一 教授	月～金曜日 13:00～14:00 会議等で不在のことがあるため事前に予約してください	
小嶋秀樹 教授	木曜日 10:30～17:00	
熊井正之 教授	月曜日 14:00～17:00 (月曜日以外 応相談)	
早川美徳 教授	火曜日 9:00～12:00	
倉元直樹 教授	月曜日 14:00～17:00 (月曜日以外 応相談)	
中島 平 准教授	火曜日 14:30～15:40 (火曜日以外 応相談)	
三石 大 准教授	木・金曜日 13:30～16:00 (要事前予約)	
佐藤克美 准教授	月曜日 13:00～16:00 金曜日 9:00～14:00	
宮本友弘 准教授	月曜日 14:30～17:00 (月曜日以外 応相談)	
爲川雄二 助教	月～金曜日 14:00～17:00	
大河雄一 助教	月～金曜日 12:00～17:00	
尹 得霞 助教	月～金曜日 10:00～17:00	

平成 29 年度 初回の授業

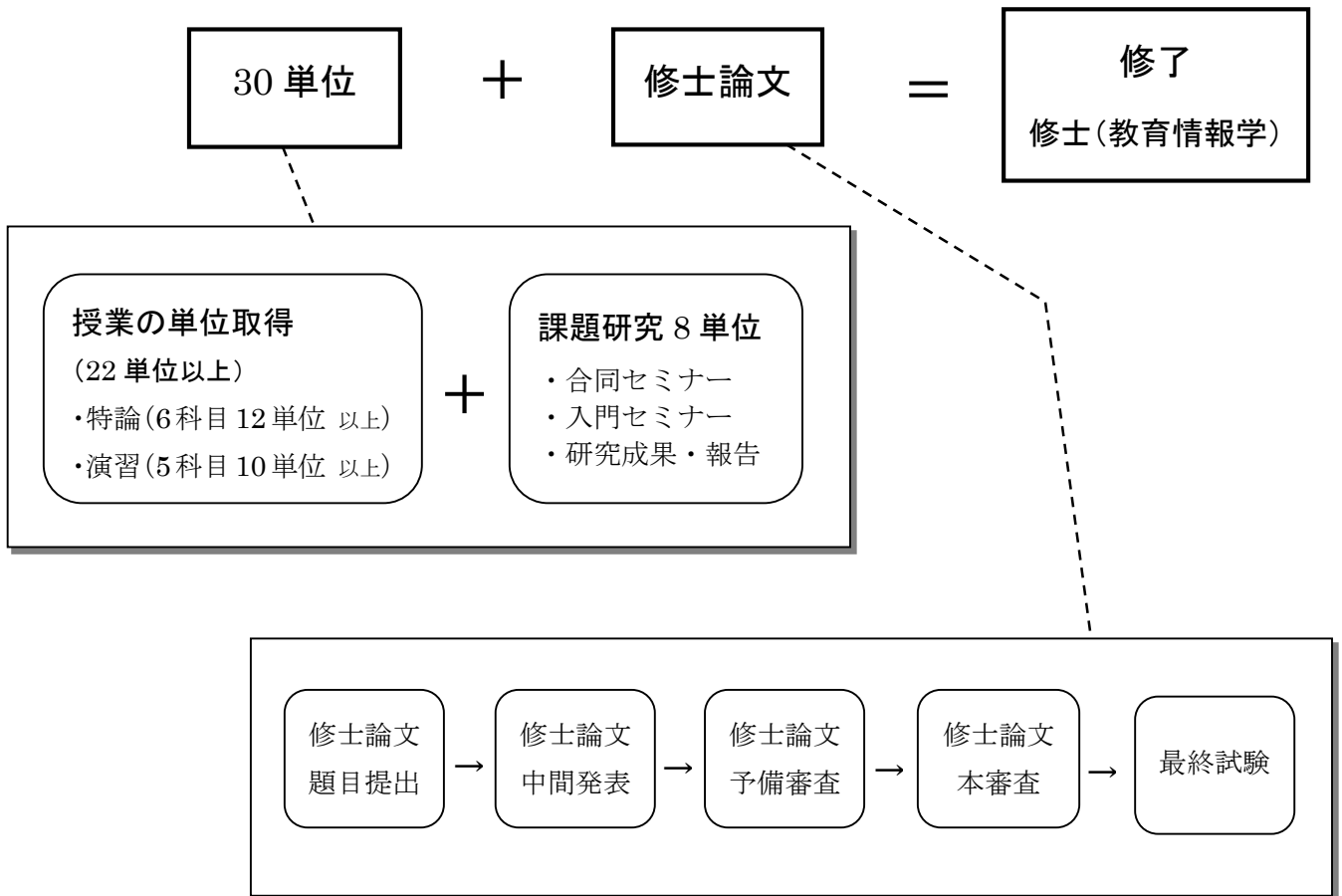
1 学期の授業は 4 月 7 日（金）から始まります。初回の授業は下記の通り行います。

	1 8:50~10:20	2 10:30~12:00	3 13:00~14:30	4 14:40~16:10
4 月 7 日 金曜日			IT 教育コミュニケーション論特論 A (渡部) 演習室	IT 教育ネットワーク 特論 B (佐藤) 演習室
4 月 8 日 土曜日				
4 月 9 日 日曜日				
4 月 10 日 月曜日	IT 教育基礎論特論 C (倉元) (文学部) 315 教室		IT 教育システムプログラミング基礎 (大河) 演習室	障害児者福祉と支援 技術 (爲川) 演習室
4 月 11 日 火曜日		IT 教育ネットワーク 論特論 A (小嶋) 演習室	IT 教育基礎論特論 B (三石) 演習室	
4 月 12 日 水曜日		研究方法入門セミナー (小嶋・中島・佐藤) 演習室	日本語実践演習 (尹) 演習室	
4 月 13 日 木曜日	IT 教育メディア設計 論特論 B (中島) 演習室	IT 教育メディア設計 論演習 B (中島) 演習室	IT 教育コミュニケーション論特論 B (熊井) 演習室	IT 教育メディア設計 論特論 A (早川) 演習室

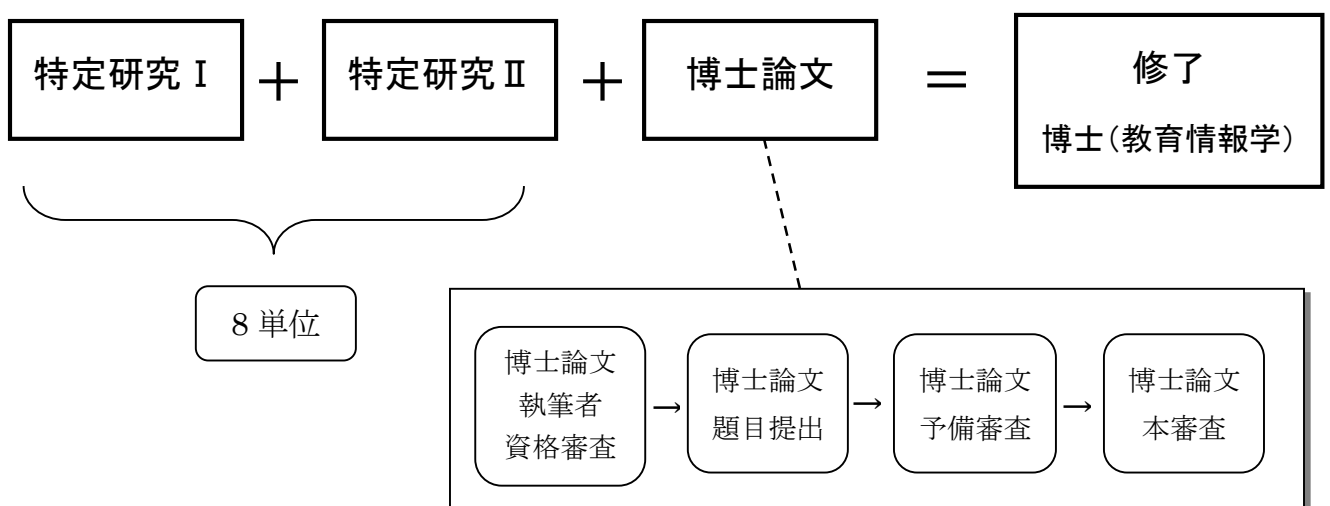
不明な点については、各授業担当の先生に直接問い合わせてください。

履修要件：修了までの流れ

前期課程



後期課程



平成 29 年度：開講科目一覧

	授業科目名	担当教員	開講学期(講時)
選択必修科目	IT教育基礎論特論B	三石准教授	1学期(火・3)
	IT教育基礎論特論C	倉元教授	1学期(月・1)
	IT教育コミュニケーション論特論A	渡部教授	1学期(金・3)
	IT教育コミュニケーション論特論B	熊井教授	1学期(木・3)
	IT教育メディア設計論特論A	早川教授	1学期(木・4)
	IT教育メディア設計論特論B	中島准教授	1学期(木・1)
	IT教育メディア設計論特論C	山下講師(非常勤)	2学期(月・3)
	IT教育ネットワーク論特論A	小嶋教授	1学期(火・2)
	IT教育ネットワーク論特論B	佐藤准教授	1学期(金・4)
	IT教育基礎論演習B	三石准教授	2学期(火・3)
	IT教育コミュニケーション論演習A	渡部教授	2学期(金・3)
	IT教育コミュニケーション論演習B	熊井教授	2学期(木・3)
	IT教育メディア設計論演習A	早川教授	2学期(木・4)
	IT教育メディア設計論演習B	中島准教授	1学期(木・2)
	IT教育ネットワーク論演習 A	小嶋教授	2学期(火・4)
	IT教育ネットワーク論演習 B	佐藤准教授	2学期(金・4)
自由聴講科目	インターネット調査演習	宮本准教授	2学期(火・2)
	IT教育システムプログラミング基礎	大河助教	1学期(月・3)
	日本語実践演習	尹助教	1学期(水・3)
	障害児者福祉と支援技術	爲川助教	1学期(月・4)
	テクニカルコミュニケーション演習	爲川助教	2学期(月・4)
課題研究	研究方法入門セミナー	全教員	1学期(水・2)

※修了には・特論(6科目12単位以上)

・演習(5科目10単位以上)の合計22単位以上が必要となる。

※専修免許状の取得に関わる科目については、学生便覧を参照すること。

※シラバスの時間割表も参照すること。

東北大学大学院教育情報学教育部・カリキュラムマトリックス

期待される 学習成果 授業科目名	教育情報学全般	教授設計モデル	IT教材制作	情報基礎理論	情報応用理論	コミュニケーション	メディア活用技術	プレゼンテーション	著作権	データベース技術	ネットワーク技術	情報セキュリティ	プログラミング	ヒューマンインタフェース	統計・データ解析	研究方法の実践
IT教育基礎論特論A													○		◎	◎
IT教育基礎論特論B				◎						○			○			
IT教育基礎論特論C	○														◎	
IT教育コミュニケーション論特論A	○					◎	△									◎
IT教育コミュニケーション論特論B	○		○			◎	○							△		○
IT教育メディア設計論特論A		◎					○		△			△				
IT教育メディア設計論特論B	○	◎	○			○	○	○								
IT教育メディア設計論特論C	△			△			○	△	○	△	△	◎				
IT教育ネットワーク論特論A					△	○	○				○		△	◎		○
IT教育ネットワーク論特論B	◎	△	◎			○	○	○								◎
IT教育基礎論演習A															◎	
IT教育基礎論演習B			○		◎				◎				◎	○		
IT教育コミュニケーション論演習A	◎							○								
IT教育コミュニケーション論演習B	△					○					△			◎		○
IT教育メディア設計論演習A		○	◎				○	○								
IT教育メディア設計論演習B	○	◎	○			○	○	○								
IT教育ネットワーク論演習A	○		○			△	○				○		◎	◎		○
IT教育ネットワーク論演習B	◎		◎			○	◎	○					△			
インターネット調査演習			△				◎	△			○				○	◎
IT教育システムプログラミング基礎			○	△	△						○	△	◎			
日本語実践演習						◎	△	○								
障害児者福祉と支援技術	○		△			◎								○		△
テクニカルコミュニケーション演習	◎		△			◎		○						△		
研究方法入門セミナー	○															◎
課題研究	◎		○			△		◎								◎

◎…大いに関係し、高度な学習成果が期待できる。


○…ある程度関係し、中程度の学習成果が期待できる。

△…少しだけ関係し、基礎的な学習成果が期待できる。

平成 29 年度 各学年の教務事項スケジュール (4 月入学者)

月 日	M1	M2	D1	D2	D3
4.12	合同セミナー ガイダンス				
~4.20	履修登録期限	履修登録期限			博士論文執筆 計画書提出
4~6 月		課題研究中間 発表会 (4~6 月)			
6.14	課題研究発表会 (参加)	課題研究発表会 (発表)	課題研究発表会 (参加)	課題研究発表会 (参加)	課題研究発表会 (参加)
~6.30					博士論文題目提出
7.26	指導教員仮決定	副指導教員決定			
~7.31		課題研究論文提出			
9.27	指導教員決定				
~10.2		修士論文題目提出			
~10.16	履修登録期限	履修登録期限			
10.18	修士論文中間 発表会 (参加)	修士論文中間 発表会 (発表)	修士論文中間 発表会 (参加)	修士論文中間 発表会 (参加)	修士論文中間 発表会 (参加)
10~1 月			特定研究審査会 (1 月 31 日まで)	特定研究審査会 (1 月 31 日まで)	
~12.8					博士論文 予備審査会
12.13	課題研究構想 発表会 (発表)	課題研究構想 発表会 (参加)	課題研究構想 発表会 (参加)	課題研究構想 発表会 (参加)	課題研究構想 発表会 (参加)
~12.20		修士論文 予備審査稿提出			
12.21			副指導教員決定		
~1.10					博士論文 本審査稿提出
~1.31		修士論文 予備審査会	特定研究 I 提出	特定研究 II 提出	
~2.9					博士論文製本稿提出 博士論文審査会 (最終試験)
~2.15		修士論文 本審査稿提出			
2.20	修士論文 審査会 (参加)	修士論文 審査会 (発表)	修士論文 審査会 (参加)	修士論文 審査会 (参加)	修士論文 審査会 (参加)
~2.28		修士論文 最終稿提出			
3.1		修了者判定			修了者判定
3.27		学位記授与式			学位記授与式

*M は前期課程, D は後期課程, 数字は学年を表す。

 は合同セミナー。

課題研究

1. 課題研究の位置づけ

課題研究(8単位, 必修)は, 教育学情報学教育部前期課程の履修科目のひとつとして位置づけられている。課題研究は, 研究方法入門セミナー及び合同セミナーへの参加(出席, 討論, 研究経過発表)による指導と, 指導教員(及び決定している場合には副指導教員等)による論文・研究指導を通じ, 所定の時期までに得られた研究成果(論文, 投稿論文別刷りないしはそのコピー, 学会・研究会発表, 研究報告書, プログラム, 作品など)とその報告(まとめの発表)によって評価・単位認定される。

2. 課題研究の基本的考え方

- ・8単位は通常の授業の4科目に相当する重みの大きい科目である。
- ・この研究は修士論文作成のためのものであるが, 「題目」等は修士論文のそれとは別でも良い。
- ・境界領域の分野であることを考慮し広い分野の人々に対して説得性のある内容と方法で研究を行い, かつ研究の意味や方法を伝えるように発表を行うことが望まれる。

3. 提出方法

(1) 単位の認定時期は, 他の科目と同様に各学期末, すなわち3月あるいは9月の各単位認定日とする。

(2) 単位認定は, 下記の総合評価による。

- ① 研究方法入門セミナーへの参加
- ② 合同セミナーへの参加(出席, 討論, 研究経過発表)
- ③ 研究成果(論文, 投稿論文別刷りないしはそのコピー, 学会・研究会発表, 研究報告書, プログラム, 作品など)
- ④ 報告(まとめの発表: 課題研究発表会)

(3) 平均の所用期間は開始から1年とする。ただし, 特に優秀と認められる場合には半年でも可とする。

(4) 標準として開始から1年程度後の合同セミナー(「課題研究発表会」)で研究発表する。

(5) 指導教員が, 上記(2)を検討するとともに当該学生と十分協議したうえで研究状況が単位認定に相当すると判断した場合には, 研究成果(上記(2)の③)と提出用紙を当該学生が教務係に提出し, 提出用紙と成果本体に事務受領印を受ける。提出用紙の様式は教務係にあるので前もって学生が受け取り, 指導教員の確認を受けること。

平成 29 年度 修士論文執筆要項

1. 修士論文題目提出

修士論文を提出する予定の学生は、所定の様式により、論文題目を教務係へ提出する。

- ・提出期限：平成 29 年 10 月 2 日（月）17 時

2. 修士論文（予備審査稿）提出

指導教員より承認を受けた予備審査用の修士論文（A4 判）を 4 部印刷し（ファイル綴じ）、所定の提出書類（指導教員・副指導教員の認印要）を添付して教務係に提出する。その際、受理票と論文本体に教務係の認印を受ける。

- ・提出期限：平成 29 年 12 月 20 日（水）17 時

3. 査読と予備審査

修士論文（予備審査稿）提出者は、予備審査会に出席する。予備審査会は、主査及び副査により構成され、教育情報学教育部にて個別に行われる。

- ・開催期日：平成 30 年 1 月 31 日（水）まで

4. コメント等対応修正と修士論文（本審査稿）提出

修士論文（予備審査稿）提出者は、各審査委員から、直接あるいはメール等で予備審査結果に基づいた指導を受け、その内容を考慮し、修士論文（本審査稿）を執筆する。修士論文（本審査稿）は、審査委員から受けた修士論文（予備審査稿）への指導内容とその対応修正の表を付して教務係に 4 部提出する。

- ・提出期限：平成 30 年 2 月 15 日（木）17 時
- ・図書室においてあった閲覧用の修士論文（予備審査稿）は修士論文（本審査稿）提出後に本人が回収する。

5. 修士論文発表会＝審査会（最終試験）（公開）

- ・期日：平成 30 年 2 月 20 日（火）9:00 から
- ・発表時間：1 人 20 分（12 分発表，8 分質疑）を予定
- ・場所：文系総合研究棟 11 階 大会議室
- ・発表会参加者用の発表スライドの配布資料または抄録原稿を 40 部用意し配布する
- ・提出された修士論文（本審査稿）1 部を回覧とする
- ・ポートフォリオ（これまでの研究経過をまとめたもの，実験・観測報告集，口頭発表論文コピー，雑誌投稿論文別刷り等）一式を綴じて回覧することが望ましい

6. 修士論文（最終稿）提出

修士論文発表会（最終試験）において発表者は、保存用の修士論文（最終稿・片面印刷）1 部を教務係に提出する。その際、論文のページには綴じ穴をあけず、英語のタイトルとアブストラクトを添えた上で、氏名・タイトルを明記した封筒に入れて教務係へ提出する。

また、論文のデジタルデータを学位論文データ保管用共有フォルダへ入れること。

- ・期日：平成 30 年 2 月 28 日（水）17 時

注：修士論文（最終稿）への修正は軽微なものに限定される。審査会（最終試験）で指摘された字句や誤字等小さな誤りに限定し、審査結果に影響を与えないものとする。

- ・図書室においてあった閲覧用の修士論文（本審査稿）は、修士論文（最終稿）提出後に本人が回収する。
- ・修士論文（最終稿）は教務より直ちに外部業者に委託して保存用に製本される。
- ・製本された修士論文は図書室に、デジタルデータは学位論文データ保管用共有フォルダに、それぞれ保存される。

* 10 月入学者は各期日がおおよそ半年繰り下がる。（詳しい日程については個別に指示する）

（以上）

平成 29 年度 特定研究（博士課程後期 3 年の課程）

1. 特定研究審査会

特定研究を提出する学生は、提出期限までに特定研究審査会に合格しなければならない。特定研究審査会は、開催日時等を指導教員が公示し、公開で行われる。審査は、指導教員及び副指導教員によって行われる。

2. 特定研究成果の提出

(1) 研究成果

特定研究審査会による審査に合格した学生は、論文別刷りまたはコピー、学会・研究会発表、研究報告書、プログラム、作品等の研究成果を一綴りにし、特定研究論文提出届を添えて、教務係に提出する。

その際、提出用紙と成果本体に事務受領印を受ける。提出届の様式は教務係から学生が受け取り、指導教員等の確認を受けること。

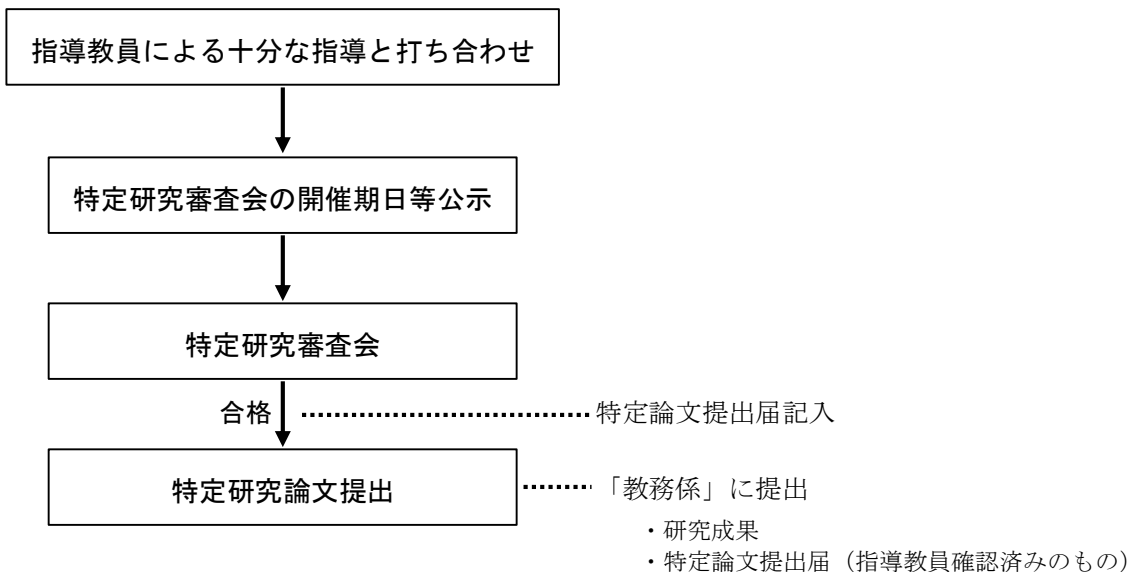
(2) 提出期日

- ・ 特定研究Ⅰ（後期課程 1 年次学生）、及び特定研究Ⅱ（後期課程 2 年次学生）共に、1 月 31 日 17 時まで。
- ・ 10 月入学者は提出期日がおおよそ半年繰り下がる。（詳しい日程については個別に指示する）

3. その他

3 年未満後期修了型希望の者、長期履修希望の者の特定研究提出日時等は別に教授会が定める。

（参考）「特定研究」提出までの流れ



平成 29 年度 博士論文執筆要項

提出までのスケジュール(例)

D1	D2	D3					
1月31日まで	1月31日まで	4月20日まで	6月30日まで	12月8日まで	1月10日まで	2月9日まで	学位取得後
特定研究Ⅰ 審査会	特定研究Ⅱ 審査会	博士論文執筆 計画書提出	論文題目提出		博士論文 (本審査稿) 提出	博士論文 (製本稿) 提出	デジタルデータ 提出
特定研究Ⅰ 提出	特定研究Ⅱ 提出	博士論文執筆 資格審査会		予備審査会		博士論文審査会 (最終試験)	

*10月入学者は、各提出期限がおおよそ半年繰り下がる。
(詳しい日程については個別に指示)

1. 博士論文執筆資格審査

博士論文を提出する学生は、博士論文執筆資格審査に合格しなければならない。

(1) 審査基準

- 博士論文執筆資格審査の標準は、「第1著者、または単著の論文を学術誌(査読付き)・学術書に1篇以上発表しており、第1著者以外の共著を含めて3篇以上の発表があること」とする。掲載が決定しているものはこれに含めることができる。
- 最低基準は、「第1著者、または単著の論文を学術誌(査読付き)・学術書に1篇発表していること」とする。ただし、本局紀要の『教育情報学研究』への掲載論文は、博士論文執筆資格審査における「査読付き学術誌」に含めないこととする。
- 最低基準を満たし、標準には達していない場合には、「学術誌(査読付き)・学術書」以外の論文も含めて個別に審査する。

(2) 審査手続き

- 博士論文執筆資格審査を受けるためには、特定研究を履修し、特定研究論文Ⅰ、特定研究論文Ⅱを提出した上で、博士論文執筆計画書を提出しなければならない。
- 博士論文執筆計画書には、①博士論文の全体的構成と概要、②執筆の計画(進捗状況も)を記載し、それまでの研究成果のリスト、ならびに代表的な成果(5篇まで)の別刷り(もしくはコピー)を添付して教務係に提出する。
- 博士論文執筆計画書は、所定の様式により、教務係へ提出する。
- 提出期日は、平成29年4月20日(木)まで随時とする。

2. 論文題目提出

- 博士論文を提出する学生は、所定の様式により、論文題目を教務係へ提出する。
- 提出期日は、平成29年6月30日(金)まで随時とする。

3. 博士論文審査委員

- 各論文に以下の3名の審査員候補者をあてる。
- 審査委員候補者の構成は、主査1名(指導教員)、副査1名(副指導教員)、及び副査1名(その他の教員)とする。

4. 博士論文予備審査会

博士論文を提出する学生は、指導教員及び副指導教員より必要な指導を受け、博士論文（予備審査稿）に基づく予備審査会に出席する。

- ・ 予備審査会を開催する期日は平成 29 年 12 月 8 日（金）までの随時とする。
- ・ 予備審査会は、主査及び副査により開催され、個別に行われる。

※予備審査に関して学生が教務係に提出するものはない。博士論文（予備審査稿）は博士論文審査委員全員に提出すること。

5. 博士論文（本審査稿）提出

博士論文を提出する学生は、予備審査会に基づく指導内容を考慮して、博士論文（本審査稿）を執筆し、提出する。

(1) 提出物の詳細

- ・ 自己負担で審査委員数分の博士論文（本審査稿）を製本する。簡易製本（ソフトカバー）でも可。
- ・ 英語のタイトルとアブストラクトを挿入する。
- ・ 審査委員からのコメントとその対応修正の表（審査委員数分の部数）を添付する。
- ・ 論文内容要旨（A4判 2,000 字程度、審査委員数分の部数）を添付する。
- ・ 履歴書（所定様式、1部）を添付する。
- ・ 論文目録（所定様式、1部）を添付する。
- ・ 所定の提出書類（指導教員・副指導教員の認印要、1部）を添付する。

(2) 提出先

教務係に提出する。その際、受理票に教務係の認印を受ける。

(3) 提出期日

平成 30 年 1 月 10 日（水）17 時まで

6. 博士論文審査会（最終試験）（非公開）

博士論文（本審査稿）を提出した学生は、博士論文審査会に出席する。

(1) 期日

平成 30 年 2 月 9 日（金）までとする。

(2) 評価の視点

博士論文は、教育情報に関する研究領域において新たな知見をもたらすものであり、かつ、研究者として自立して研究活動を行いうる高度の研究能力を有することを示すもの、若しくは、職業人として研究者と同等の研究能力と豊かな学識を有することを示すものとする。評価の視点は下記の通りである。

- ① 論文のまとめ方とその仕上がり具合、様式、論理構成、論旨
- ② 発表の仕方、受け答え
- ③ これまでの研究経過、努力とその成果、学術誌学術書掲載論文の数と質
- ④ その他の要素：博士論文の今日的意義（価値、インパクト）

7. 博士論文（製本稿）提出

自己負担で、ハードカバーで製本された博士論文（製本稿）2部を、平成 30 年 2 月 9 日（金）17 時までに教務係に提出する。

※その際、博士論文インターネット公表確認書も提出すること。

8. 最終判定

博士論文審査会（最終試験）の報告を受け、所定の教授会にて議決を行う。

9. 博士論文（デジタルデータ）提出

博士論文はその全文を東北大学機関リポジトリ（TOUR）に登録し、インターネットで公表する。ただし、やむを得ない理由がある場合は全文を要約したのもでもよい。

(1) 手続き

- ・博士論文を提出する者は、事前に「博士論文インターネット公表確認書」を教務係から受け取ること。
- ・博士論文を提出する際にあわせて「博士論文インターネット公表確認書」を提出し、博士論文のインターネット公表について意思表示すること。締め切り平成30年2月9日（金）17時。
- ・デジタルデータはCD-ROM等に保存し、学位取得後3ヶ月以内に教務係へ提出すること。

(2) デジタルデータを提出する際の注意事項

- ・データファイル名称は、「学位授与年月日（西暦は下2桁のみ）+英文名（姓のみ）+学位記番号+0または1（要約の場合は0、全文の場合は1）」とする。

※例）2018年3月27日に学位（学位番号123号）を授与された佐藤花子さんが全文を公開する場合、

「180327-sato-123-1.pdf」となる。

- ・保存形式は、PDFまたはPDF/Aとする。容量に制限は設けない。
- ・データは、表紙・目次・図表等を全て含めて1つのファイルにすること。
- ・論文データはCD-ROM等1枚に記録すること。
- ・提出するCD-ROM等はケースに入れるなどし、保存に耐えうるようにすること。
- ・CD-ROM等、およびケース表面に、提出者の「学籍番号・学位の種類・氏名・学位授与年月日」がわかるように記載すること。

(3) その他

- ・要約を提出した者でも、後に「やむを得ない理由」がなくなった場合は、速やかに博士論文全文のデジタルデータを教務係に提出すること。
- ・インターネット公表、デジタルデータ提出に関しては、「博士論文を提出する方へ」（平成25年10月23日教育部教授会）も参考にすること。

10. 提出方法の特別扱い

勤務等の関係で、通常、他県等の遠隔地に居住する学生の場合、指導教員がその代理で提出をすることが認められるものとする。ただし、期限に関して猶予はされない。

(以上)

平成 29 年度 合同セミナー

1. 合同セミナーの目的

複合的な研究領域である教育情報学の研究においては、幅広い分野の視点からの議論が不可欠となる。本セミナーの目的は、学生による自身の研究に関する発表と、教育情報学教育部の全教員及び大学院学生による議論を通して、発表者がより発展的な研究の方向性を見出し、また参加者が新たな視点や知見を獲得していくことにある。

2. 合同セミナーの単位認定

合同セミナーは、8 単位必修の課題研究のひとつの要素として位置づけられている。下表に示されている 5 回の合同セミナー及び研究室毎に開催される課題研究中間発表会への出席、自身の研究発表、及び議論への積極的な参加が、課題研究の単位認定のひとつの基準となる。

したがって、自身が発表担当者に該当していないセミナーにおいても、出席と議論への参加が求められる。議論では、当該研究の発展に資する発言が強く望まれる。

発表者は指導教員と十分に連絡をとり指導を受けること。発表者は、合同セミナー当日午前 9 時までに発表スライドの配布資料または抄録原稿を印刷し配布すること。その他、必要があれば追加配布資料等を適宜用意すること。配布資料は 50 部用意すること。

また、合同セミナーでの発表後もそれぞれの発表を確認できるよう、各自協力してこれをビデオ収録し、発表終了後 1 週間以内に e ラーニングコンテンツとして ISTU に登録して互いに閲覧可能な状態とするとともに、これに基づき、積極的に意見交換を行うこと。

表：合同セミナー開催日程

日程	時間	会場	4 月入学者
4 月 12 日(水)	10:30~12:00	演習室	合同セミナーガイダンス (研究方法入門セミナーガイダンス)
6 月 14 日(水)	9:00~16:00	総合研究棟 206 教室	課題研究発表会 (H28 年入学者発表)
10 月 18 日(水)	9:00~16:00	総合研究棟 202 教室	修士論文中間発表会 (H28 年入学者発表)
12 月 13 日(水)	9:00~16:00	総合研究棟 202 教室	研究構想発表会 (H29 年入学者発表)
2 月 20 日(火)	9:00~16:00	総合研究棟 大会議室	修士論文発表会 (H28 年入学者発表)

*発表会は、原則として発表 10 分質疑 5 分で行う。

3. その他

- (1) 長期履修学生の発表日程は指導教員から別途公示される。
- (2) 表に示した日程の他に臨時の合同セミナーが開催される場合がある。臨時合同セミナーの日時は、その都度、開催者から公示される。
- (3) 後期課程入学者の特定研究発表及びその他の学生の課題研究中間発表は、研究室ごとに実施する。日時・場所等は指導教員から別途公示される。

平成 29 年度 研究方法入門セミナー

1. 目的

本セミナーの目的は、一人ひとりの学生が自身の研究を進める上で必要な基礎的な研究能力を高めることにある。毎回、異なる教員がセミナーを担当するオムニバス形式で行う。それぞれの教員が是非学生の皆さんに習得してほしいと考える研究方法論及び研究の進め方等に関する基礎的な事項について、具体的な事例等をもとに解説を行う。

2. 研究方法入門セミナーの単位認定

研究方法入門セミナーは 8 単位必修の課題研究のひとつの要素として位置づけられている。下表に示されている 14 回の講義への出席および 1 回の講義のレポート提出が課題研究の単位認定のひとつの基準となる。

3. 日程及び担当教員

回	月日	担当教員	授業タイトル
1	4.12	小嶋教授 中島准教授 佐藤准教授	ガイダンス, ISTU 使用説明
2	4.19	倉元准教授	研究をはじめる前に — 「研究」とは何だろうか
3	4.26	尹助教	研究方法の基礎 (1) 留学生のための研究活動のヒント
4	5.10	大河助教	研究方法の基礎 (2) 情報科学入門
5	5.17	三石准教授	研究方法の基礎 (3) 創造的な研究のためのチャレンジ
6	5.24	渡部教授	研究方法論 (1) 認知科学の研究手法
7	5.31	熊井教授	研究方法論 (2) コミュニケーション研究の方法
8	6.7	早川教授	研究方法論 (3) 研究を論文にまとめるためのヒント
9	6.21	小嶋教授	研究方法論 (4) 情報通信技術を活用した研究
10	6.28	佐藤准教授	研究方法論 (5) 教育現場での研究
11	7.5	爲川助教	研究方法論 (6) 分野横断型研究 (学際的研究)
12	7.12	中島准教授	研究方法論 (7) 研究方法の展開 どのように研究をしますか?
13	7.19	宮本准教授	研究方法論 (8) エビデンスをつくる, つたえる, つかう
14	7.25,26	全教員	研究の公開 オープンキャンパス参加 (2 年生も参加)
15	ISTU	爲川助教	研究対象者の権利とインフォームドコンセント

4. 時間及び教室

- ・ 1 学期 水曜日 2 講時 (10:30~12:00)
- ・ 教室は全て演習室 (第 15 回は ISTU で受講し, レポートを提出すること)

5. 注意

前期課程 1 年次学生は全員参加すること。2 年次以降学生については, 希望者の参加を認める。

オープンキャンパス

1. オープンキャンパスとは？

東北大学では入学希望者や一般の市民が東北大学のことをより理解する機会として、オープンキャンパスを実施しています。

教育情報学研究部・教育部では、高校生や一般の市民、そして教育情報学教育部の受験を考えている人たちが研究部・教育部の研究成果に触れ、教育情報学という学問分野により理解を深めてもらう機会と位置づけ、オープンキャンパスに参加しています。

大学院生もオープンキャンパスに積極的に参加し、自分の研究成果を発表して社会に報告・還元するとともに、学生の視点から教育情報学研究部・教育部に対する社会の理解を促進するなど、社会に対して情報発信する機会とすることを期待します。

2. これまでに実施してきた企画の例

- ・大学院生の研究成果のポスター発表・デモンストレーション
- ・大学院生や教員が開発した学習コンテンツ等の体験受講
- ・大学院生との談話コーナー
- ・先端教育推進室の開放（3D映像，CGの体験）
- ・教員による受験・進学相談

ほか

3. 平成 29 年度の実施時期

平成 29 年度は、7 月 25 日（火）、26 日（水）に開催される予定です。

4. 平成 29 年度実施スケジュール（予定）

5月	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの確認（ガイダンス） ・企画の構成 ・パンフレット原稿作成（6月初旬締め切り予定）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画の確認 ・展示企画等の担当の確認 ・必要な物品の確認
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画準備 ・当日担当者確認等 →実施

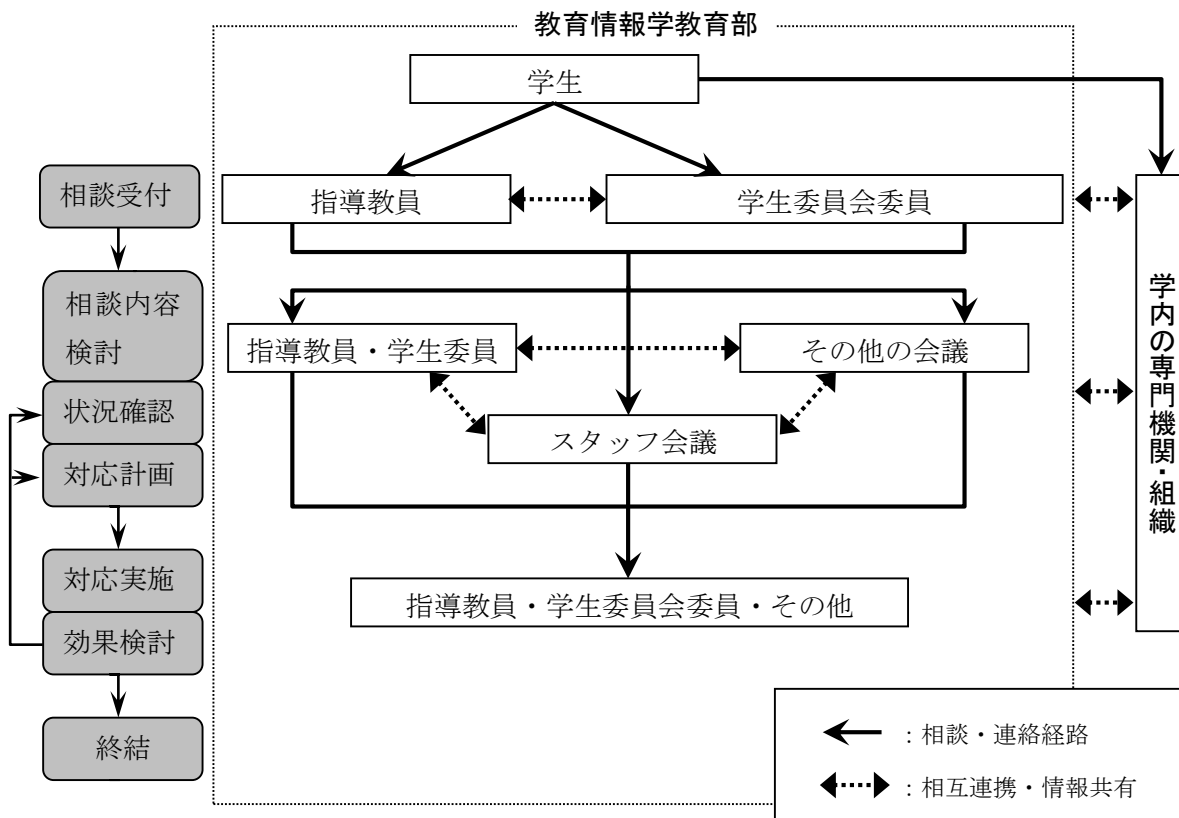


教育情報学教育部における学生相談窓口と経路（相談内容に応じて適宜調整）

1. 学生相談窓口

- a) 「指導教員」
- b) 「学生委員会委員（平成 29 年度…小嶋教授（委員長），熊井教授，佐藤准教授，尹助教）」
- c) 「学内の専門機関・組織」（学生相談所，保健管理センター，セクシャルハラスメント全学相談窓口，国際交流センター）

2. 相談経路図



学内の専門機関・組織の連絡先等

- ・ 学生相談所（川内北キャンパス保健管理センター隣，TEL：022-795-7833，
FAX：022-795-3861，e-mail：gakuso@bureau.tohoku.ac.jp,）
- ・ 保健管理センター（川内北キャンパス内，TEL：022-795-7835，FAX：022-795-3804）
- ・ セクシャルハラスメント全学相談窓口（川内北キャンパス保健管理センター建物内 2F，
TEL：022-795-7812，FAX：022-795-3778）
- ・ 国際交流センター（川内北キャンパス内，TEL：022-795-7776，FAX：022-795-7826）

